

「小学生に向けた畳の授業開催」飯塚直亮（支部準会員）

市川市立八幡小学校の3年生が「和」を学ぶ授業の一環として、畳製作を見学する特別授業が飯塚床敷物(有)さんにおいて開催されました。120名の生徒が訪れ、子供達が様々な種類の縁に特に興味を持っていた事から、縁をつける工程が実演されました。

飯塚さんのコメント:子供たちが畳についてとても熱心に勉強していることが、驚きと共に嬉しく思いました。先生のお話では、家に和室がない子が半数という中で、小学校内に色々な所から不要になった畳を集めて敷き詰めた畳部屋を作り、そこで遊びながら実物に触れ、好きになることが熱心に勉強につながっているとの事でした。また今回、実際につくる現場を驚きや喜びをもって体感し、楽しんでくれました。もとより純粋に勉強することと職人の日々の関心は別のところにあります。好きになること、それに対して本当の関心を持つことが原点であることに変わりはありません。



「土の性質と地盤調査の重要性と判断」伊田テクノ株式会社（支部賛助会員）



まず教室にて関東及び市川の地質の構成について解説し、地質調査の目的と種類についても説明した上で、学校の敷地内に実際に標準貫入試験を実施。解説を裏付けるように貝殻を含む地層が出土し、目の当たりにした。

市川工業高校の地形は？



- ・最終氷期最盛期(23,000~19,000年前) 最も海水準が低下した。浸食作用はピークに達し、海面は現在よりも130mも低かったと考えられている。
- ・(縄文海進(有楽町海進)19,000~6,000年前) 海水準は現在よりも3~4m程度高かった。最温暖期 海水準は100m以上におよぶ急激な上昇(年達1~2cm)に転じ、低地を構成する地層が堆積しはじめた。



市川工業高等学校より「標準貫入試験を見学出来るような現場ありませんか？」と支部に依頼があり、支部賛助会員の(株)伊田テクノさんに打診したところ、「未来ある工業高校生の為になるなら、学校で実際に掘りますよ。無償で構いません。」と非常に有難い申し出を受け、今回の授業が実現。2021年11月5日(金)に実施されました。千葉営業所所長千ヶ崎さんによる解説を教室で受けてから現地にて実施見学し、教室に戻って調査結果の考察及び地盤改良工法等について解説してもらうという、非常にわかりやすく貴重な体験をすることが出来、生徒達も興味深く真剣に耳を傾けていて、終了後に参加された先生方からも非常に感謝の声が届きました。

千ヶ崎さんのコメント:生徒達に伝えたかったのは、私達が生活している地面の下には歴史があり、地層の構成によって様々な見えない力が潜んでいること、土の見えない力(力学的根拠)を明確にできるツールを今後活用して欲しいことです。今までのプレゼントと違い、今回は準備段階からとても緊張しました。当日は、子供たちの熱いまなざしと礼儀正しさにとても恐縮してしまいました。授業では人に興味を持ってもらう、人に伝えるというのはとても難しいことなんだと改めて感じました。今後、生徒達が少しでも地質に興味を持っていただき、数年後の建物設計や建設の現場で、安全・安心な建物や構造物を作って頂けたら幸いです。

「山中湖ワカサギ釣り」釣り部活動報告 井上健一郎



2022年1月30日(日)家族参加を含め総勢12名の参加となりコロナ禍ではあったものの、久しぶりに賑わいました。ワカサギ釣りと皆さんが想像するのは、氷上に穴を開け短い竿で釣りをするのを思い浮かべるでしょうが、今回のワカサギ釣りはドーム船で暖房、トイレ、電子レンジ、電気ポット完備のなんとも至れり尽くせりの釣行でした。始めはなかなか食いが渋く、ポツポツと釣れてましたが、まとまった釣果には恵まれず、上がり30分前ぐらいからワカサギの群れが回遊、パタパタ釣り始めたのも束の間、上がりの時間が来てしまいお開きになりました。釣れないながらも参加した子供達も楽しめたようで、また次回企画したいと思います。次は、東京湾かな。



「伊豆ヶ岳ハイキング」山登り部活動報告 麻生英之



2022年11月23日(祝)伊豆ヶ岳ハイキングに参加しました。建築士会では山登り部の幹事の方が可能な限り誰でも参加できるルートを考えてくれ、年に2回程度ハイキングに行っています。当日は各支部も含め10人が参加しました。8時に池袋駅に集合、秩父線で正丸駅に向かい、駅からハイキングが始まりました。11月後半という事もあり、紅葉は少し残っている程度ですが、気持ちのいい晴天でした。コロナ渦でなかなか外出も出来ない日常の中、歩き、登り、久しぶりに人と会い(画面上で無く!)、歩きながらの会話が出来るのは貴重な非日常でした。2時間半ほどで最後の男坂、女坂に到着しました。坂の上が頂上です。男坂は鎖場のある急な坂で、私は迷うことなく女坂にて頂上を目指しました。山の頂上はやっぱり気持ちのいい風が吹いていました。少し赤い色が残った山の先には都内のビル群が小さく見えました。いつもすごしている日常が遠くに見えた感じです。次回は桜の咲く春に企画して頂けるようです。この会は全く山登りをしたことが無い人も、お子さんでも参加出来ます。きっと日常と少し違う、別世界を体験出来ると思います。



県立市川工業高等学校における実務授業協力の報告

「希望を形に ～建築設計という仕事～」株式会社堀川設計舎 堀川成良（支部会員）



経済産業省中小企業庁による起業家教育事業の一環として、生徒向けに講話をして欲しいと市川工業高等学校より意匠設計事務所を営む支部会員堀川さんへ依頼があり、2021年11月18日(木)に実施。建築設計事務所の仕事内容について、まず参加した1~3年生30名程度に向け、プロジェクターを使い写真や図面にてプレゼンを実施。大まかな仕事内容の紹介、紹介による仕事の受注方法、設計において心掛けてほしい「環境や希望の中にあるオリジナリティをかたちにすること」について、外装をお菓子箱に見立てて改装した洋菓子店や庭の緑で溢れる住宅の新築、隣接する線路や山並みの眺望を活かした白馬村の宿泊施設の実例をサンプルとして丁寧に解説を行いました。また地域との関わりとして行っている建築士会でのイベント等の活動も紹介。パワーポイントにて100枚を超える熱のこもった45分間の講演終了後には、希望参加による座談会も行われ、より具体的に質疑応答が繰り広げられました。講話が終わり生徒達が喜びで担任の先生に報告をしていたとの連絡も学校側からあったそうです。

堀川さんのコメント:生徒達がプレゼンを本当に真剣に聞いてくれ、また座談会でも熱心に質問してくれたので、こちらとしても建築設計という仕事を力一杯表現することが出来ました。後日、生徒達からもらった沢山の感想(一部を下部に紹介)には感激しました。未来の建築士達に建築設計の面白さを伝える機会を頂けたことは本当に貴重でした。将来、彼らと一緒に仕事が出来たら素敵だなと思います。



今回先生の話を聞いて私は将来やりたい自分の後から少し見えた気がしました。このごろ将来について迷っていることが多かったのでそれについてよく考えることができました。また話を聞く機会が「あ、お話を聞きたいです。それ、今回の講話で出てきたお菓子箱のお話について、前々からすごく面白くて「サイン」だと思っていて、遠目に見る程度だったんですが、ここまで詳しくは知りませんでした。とても詳しくお話を聞くことができて良かったです。とても心になりました。他にも、知りたいこと、気になることがたくさんあったのでインターンシップがある年までお話をさせていただきたいと思います。

今回の講話を聞き、堀川さんのプレゼンテーションの希望を尊重し、設計をしてもらって、とても感謝しています。自分は設計の仕事という大いにかかっているという事で、堀川さんの紹介した建築士会が、とても役に立つと思います。今回は貴重な時間を割いてくださり、ありがとうございました。

編集後記

今回は2点変更してみました。①記事を第三者視点で書くこと②内面を見開き1ページで使用したことです。①はより新聞記事みたく仕上げることで読みやすくする為、②は目で見てわかりやすくする為です。特に今記事での注目は内面です。皆様がこの地図を片手に、建築物巡りやグルメ旅をしてもらいたいと思い、作成しました。是非皆様の人生の充実の為に活用していただけたら幸いです。では次号もお楽しみに。(小泉 雄揮)

差出人・発行元：千葉県建築士会市川・浦安支部

事務局：〒272-0014 市川市田尻 4-9-16-354 TEL 047-379-4581 株式会社島田設計事務所内 FAX 047-379-4582

千葉県建築士会 市川・浦安支部HP http://www.kenchiku-ichikawa-urayasu.com/

※建築士会について、支部活動の予定、お知らせ、年会費、入会等の詳細のご案内は支部のHPをご覧ください。

